

世の中を動かす、あらゆる温度。その最先端が集結。

温度先進国・日本の技術力  
ヒーバック&  
アール ジャパン2010  
冷凍・空調・暖房展

2010.2.16(tue) → 2.19(fri)

東京ビッグサイト [www.jraia.or.jp](http://www.jraia.or.jp)  
主催：社団法人 日本冷凍空調工業会

The Japan Refrigeration and Air Conditioning Industry Association(JRAIA)



報告書



## 報告書

「温度先進国・日本の技術力」をテーマの下に、  
 あらゆる温度帯で活躍する、高効率な冷凍・空調技術が集結。  
 展示会・セミナーともに盛況裡に終了しました。

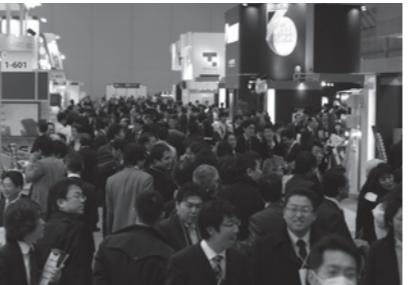
## ごあいさつ



東京ビッグサイト



登録所



展示会場内



祝賀セレブレーション



情報発信コーナー



展示会場を俯瞰から



開会式

左から日本冷凍空調工業会 西見副会長  
 日本冷凍空調工業会 有馬副会長  
 経済産業省製造産業局産業機械課 米村課長  
 日本冷凍空調工業会 有原会長  
 日本冷凍空調工業会 金森HVAC&R部会長

## 目 次

ごあいさつ	P1
開催概要	P2
来場者概要	P3
会場図	P4-5
出展者一覧	P6-7
情報発信コーナー他 併催企画	P8-9
基調・一般講演／RRCセミナー／出展者プレゼンテーション	P10-11
アンケート結果	P12-13
来場者アンケート	P12
出展者アンケート	P13
広報・宣伝活動	P14-17

HVAC&R JAPAN 2010 (第36回冷凍・空調・暖房展)は、去る平成22年2月16日(火)より19日(金)の4日間にわたり、東京ビッグサイトにおいて開催され、盛況裡に終了いたしました。

冷凍空調業界における我国最大規模のトレードショーとして、国内のみならず海外からも高い評価を頂き、世界最高水準の技術をご覧いただくにふさわしい展示会となりました。これもご参加頂きました企業・団体の皆様が積極的なご提案・展示をして頂きました成果であり、また、冷凍・空調製品に関心の高いユーザーの皆様方がご参集いただけたことによるものと、心より厚く御礼申し上げます。

今回の展示規模は、世界の共通課題である地球温暖化などの環境問題が急激に高まっていることもあり、出展企業は海外23社を含め140社、出展小間数も580小間と過去歴代3位の展示規模となり、来場者数も28,079人と多くの皆様にお越しいただきました。

平成22年4月より改正省エネ法が施行されることもあり省エネルギー化さらには環境問題へ注目が集まる中、各ブースとともに省エネルギー製品や地球温暖化やオゾン層破壊への対応を狙った新製品の展示に重点を置かれているのが印象的でした。また、新たなビジネスチャンスをひろげる新技術や製品が多く展示・提案され、来場者も高い関心を寄せていきました。

さらに、著名な講師を招いた「基調講演」「一般講演」も好評で、中には事前申込で満席となる講演もあり、同時開催の「日本冷凍空調学会 技術賞セミナー」も多数の研究者や開発技術者が集う結果となりました。

今回の「HVAC&R JAPAN 2010」では「温度先進国・日本の技術力」をテーマとして当工業会が取扱う幅広い製品群及び諸技術を紹介することにより、当工業会が地球温暖化防止などの環境問題において大きな役割を持つことを強くアピールさせていただきましたが、今後も省エネルギーの推進や地球環境保護など、社会の貢献をより一層進めて参ります。

最後に、このような大成功を収めることができましたのも、ひとえに出展各社をはじめ、関係官庁、協賛団体・学会、ならびに報道機関のご支援、ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。ここに「HVAC&R JAPAN 2010」についてご報告いたしますとともに、次回の「HVAC&R JAPAN 2012」開催に向けてより一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

社団法人 日本冷凍空調工業会  
 会長 有原 正彦



## 開催概要

展示会名称：HVAC&R JAPAN 2010 (ヒーバック&アールジャパン)  
第36回冷凍・空調・暖房展

会期：2010年2月16日（火）～19日（金）  
10:00～17:00（最終日は16:00まで）

会 場：東京ビッグサイト  
東展示棟1・2ホール

主 催：社団法人 日本冷凍空調工業会

後援：経済産業省

展示会規模：140社/団体 580小間

入 場 料 : 無 料 (登録制)

協賛：ウレタンフォーム工業会  
社団法人オゾン層・気候保護産業協議会  
社団法人空気調和・衛生工学会  
財団法人建築環境・省エネルギー機構  
社団法人建築業協会  
社団法人建築設備技術者協会  
高圧ガス保安協会  
財団法人省エネルギーセンター  
財団法人新エネルギー・財団  
独立法人新エネルギー・産業技術総合開発機構  
社団法人全国建設業協会  
全国電機商業組合連合会  
社団法人ソーラーシステム振興協会  
電気事業連合会  
社団法人電気設備学会  
社団法人日本ガス協会

社団法人日本ガス石油機器工業会  
社団法人日本機械工業連合会  
社団法人日本空気清浄協会  
社団法人日本空調衛生工事業協会  
社団法人日本産業機械工業会  
日本自動機器工業会  
社団法人日本自動車車体工業会  
社団法人日本自動販売機工業会  
社団法人日本設備設計事務所協会  
社団法人日本セルフ・サービス協会  
日本太陽エネルギー学会  
日本暖房機器工業会  
日本チーンシステム協会  
社団法人日本電気計測器工業会  
社団法人日本電機工業会  
社団法人日本バルブ工業会

日本フォームスチレン工業組合  
日本フルオロカーボン協会  
社団法人日本ボイラ協会  
社団法人日本保温保冷工業協会  
日本床暖房工業会  
日本冷却塔工業会  
社団法人日本冷凍空調学会  
社団法人日本冷凍空調設備工業連合会  
社団法人日本冷凍食品協会  
発泡スチレン工業会  
財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター  
社団法人プレハブ建築協会  
社団法人フロン回収推進産業協議会  
(50音順)

## 来場者概要



来場者数 4日間合計 28,079人（前回実績 33,277人）

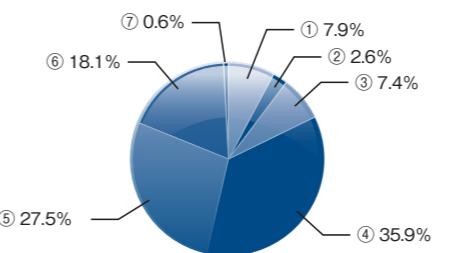
開催日	天候	来場者数
2月16日(火)	くもり	5,456人
2月17日(水)	くもり	8,009人
2月18日(木)	くもりのち晴	7,795人
2月19日(金)	晴	6,819人
	合計	28,079人



## 登録受付風景

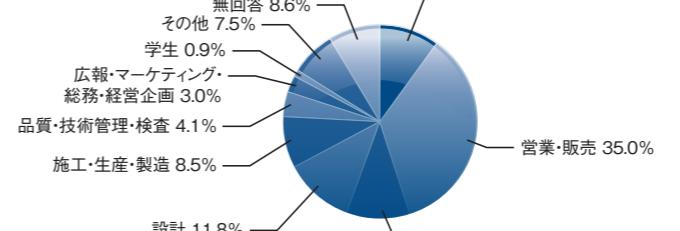
## 業種・職種・年齢内訳と海外からの来場者

### 業種内訳

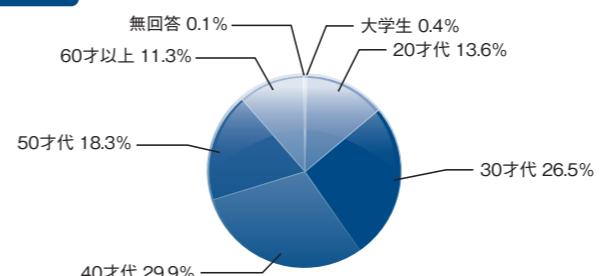


① ユーザー	2,213 人
② 官公庁・自治体・団体・教育／研究機関 等	718 人
③ 設計・工務店・建築	2,087 人
④ 設備・電気・管工事業・保守／サービス業	10,094 人
⑤ 冷凍空調暖房メーカー・資材メーカー	7,725 人
⑥ その他	5,086 人
⑦ プレス	156 人
合計	28,079 人

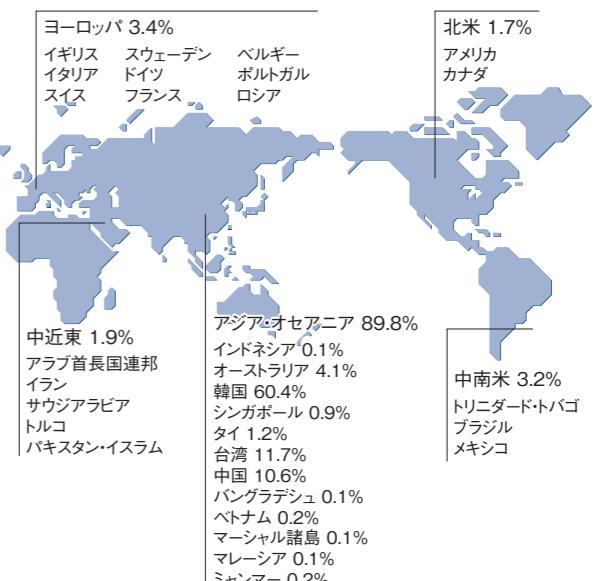
職種



年齡



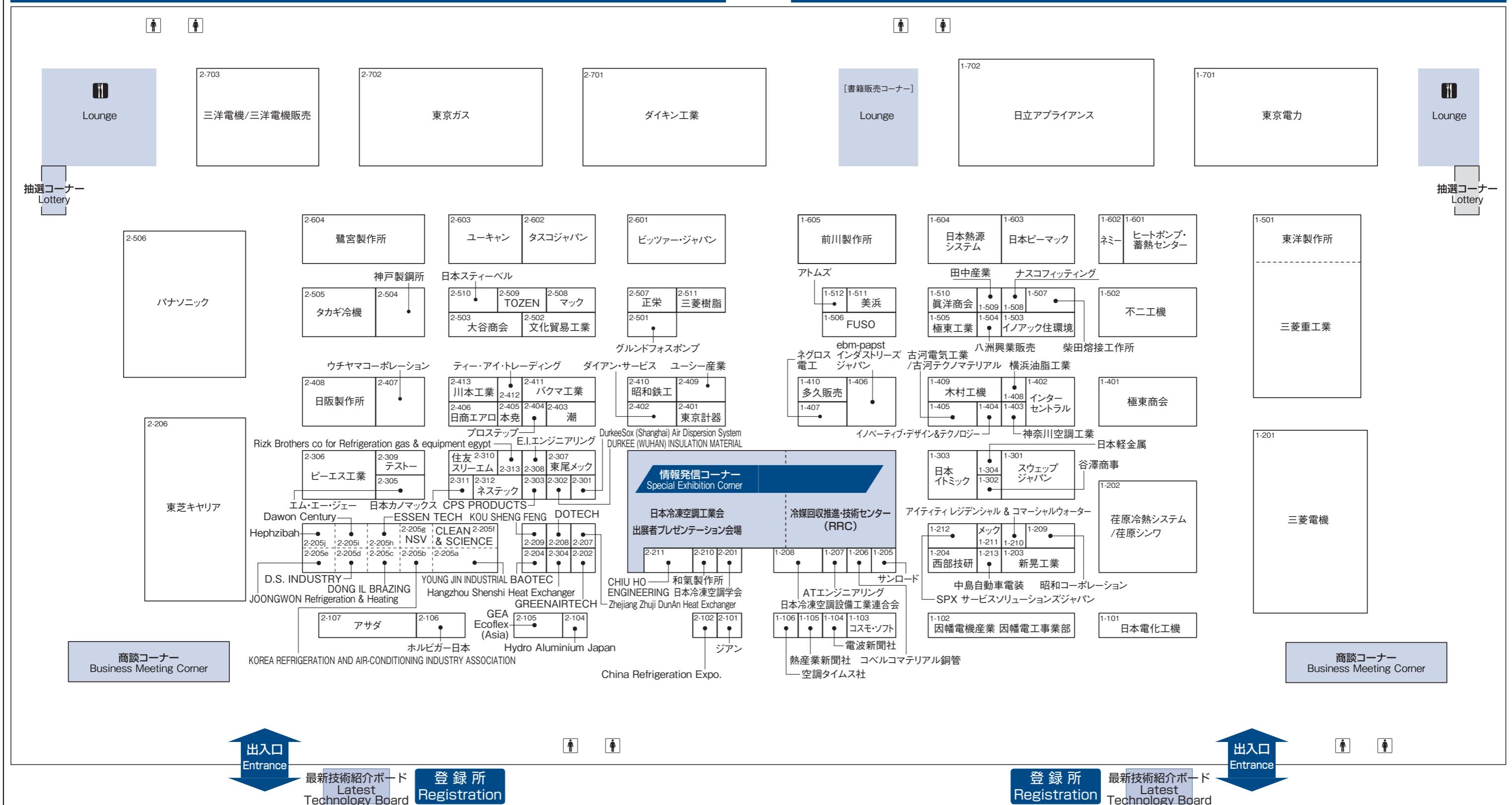
海外来場者 31ヶ国・地域／864名



## 会場図

## 東2ホール East Hall 2

## 東1ホール East Hall 1



## 出展者一覧

Booth No.	出展者名
2-702	アイシン精機株式会社 (GHPグループ) ※
1-210	アイテイティ レジデンシャル & コマーシャル ウォーター
2-107	アサダ株式会社
1-512	株式会社アトムズ
2-308	株式会社E.I.エンジニアリング
1-406	ebm-papst インダストリーズジャパン株式会社
1-102	因幡電機産業株式会社 因幡電工事業部
1-503	株式会社イノアップ住環境
1-404	イノベーティブ・デザイン&テクノロジー株式会社
1-402	株式会社インターフィンテクニカル
2-403	株式会社潮
2-407	ウチヤマコーポレーション株式会社
1-207	株式会社ATエンジニアリング
1-212	SPX サービスソリューションズジャパン株式会社
1-202	株式会社荏原シワ ※
1-202	荏原冷熱システム株式会社
2-305	エム・エー・ジー株式会社
2-503	株式会社大谷商会
1-403	有限会社神奈川空調工業
2-413	川本工業株式会社
1-409	木村工機株式会社
1-505	極東工業株式会社
1-401	株式会社極東商会
1-106	株式会社空調タイムス社
2-501	グランドフォスポンプ株式会社
2-504	株式会社神戸製鋼所
1-103	株式会社コスモ・ソフト
1-206	株式会社コベルコマテリアル銅管
2-604	株式会社鷺宮製作所
2-703	三洋電機株式会社 / 三洋電機販売株式会社
2-702	三洋電機販売株式会社 (GHPグループ) ※
1-205	株式会社サンロード
2-101	株式会社ジアン
1-507	有限会社柴田熔接工作所
2-507	正栄株式会社
1-209	株式会社昭和コーポレーション

Booth No.	出展者名
2-410	昭和鉄工株式会社
1-203	新晃工業株式会社
1-510	株式会社眞洋商会
サ 1-301	SWEP International AB ※
1-301	スウェップジャパン株式会社
2-310	住友スリーエム株式会社
1-204	株式会社西部技研
2-402	株式会社ダイアン・サービス
2-701	ダイキン工業株式会社
2-702	ダイキン工業株式会社 (GHPグループ) ※
2-505	タカギ冷機株式会社
1-410	多久販売株式会社
2-602	タスコジャパン株式会社
1-509	田中産業株式会社
1-302	谷澤商事有限会社
2-211	九合工程股分有限公司
タ 2-412	ティー・アイ・トレーディング株式会社
2-309	株式会社テスロー
1-104	株式会社電波新聞社
2-702	東京ガス株式会社
2-401	東京計器株式会社
情報発信コーナー	社団法人東京都冷凍空調設備協会 ※
1-701	東京電力株式会社
2-206	東芝キヤリア株式会社
1-501	株式会社東洋製作所
2-509	株式会社TOZEN
1-213	株式会社中島自動車電装
1-508	ナスコフィッティング株式会社
2-406	日商エアロ株式会社
1-303	株式会社日本イトミック
2-311	日本カノマックス株式会社
1-304	日本軽金属株式会社
2-604	日本GT株式会社 ※
2-510	日本スティーベル株式会社
1-101	日本電化工機株式会社
1-604	日本熱源システム株式会社

Booth No.	出展者名
1-603	日本ピーマック株式会社
2-201	社団法人日本冷凍空調学会
1-208	社団法人日本冷凍空調設備工業連合会
ナ 1-407	ネグロス電工株式会社
2-312	ネステック株式会社
1-105	有限会社熱産業新聞社
1-602	ネミー株式会社
2-411	バクマ工業株式会社
2-506	パナソニック株式会社
2-506	パナソニック エコシステムズ株式会社 ※
2-506	パナソニック電工株式会社 ※
2-306	ピーエス工業株式会社
1-601	財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター
2-307	東尾メック株式会社
2-408	株式会社日阪製作所
1-702	日立アプライアンス株式会社
2-702	日立アプライアンス株式会社 (GHPグループ) ※
2-601	株式会社ビツツァー・ジャパン
1-502	株式会社不二工機
1-506	株式会社FUSO
1-405	古河電気工業株式会社 / 株式会社古河テクノマテリアル
2-404	有限会社プロステップ
情報発信コーナー	一般社団法人フロン回収推進産業協議会 (INFREP) ※
2-502	文化貿易工業株式会社
2-106	ホルビガーニ日本株式会社
2-405	株式会社本堯
1-605	株式会社前川製作所
2-508	株式会社マック
1-501	三菱重工業株式会社
2-702	三菱重工空調システム株式会社 (GHPグループ) ※
2-511	三菱樹脂株式会社
1-201	三菱電機株式会社
1-201	三菱電機住環境システムズ株式会社 ※
1-201	三菱電機ビルテクノサービス株式会社 ※
1-201	三菱電機冷熱応用システム株式会社 ※
1-511	美浜株式会社

Booth No.	出展者名
マ 1-211	株式会社メック
1-510	森村商事株式会社 ※
1-504	八洲興業販売株式会社
2-702	ヤンマーエネルギーシステム株式会社 (GHPグループ) ※
2-603	ユーキヤン株式会社
2-409	ユーシー産業株式会社
1-408	横浜油脂工業株式会社
ラ 情報発信コーナー	冷媒回収推進・技術センター (RRC)
ワ 2-210	有限会社和氣製作所
海 外	
2-204	BAOTEC Co., Ltd.
2-102	China Refrigeration Expo.
2-205f	CLEAN & SCIENCE
2-303	CPS PRODUCTS INC.
2-205d	D.S. INDUSTRY CO., LTD.
2-205i	Dawon Century Co., Ltd.
2-205c	DONG IL BRAZING CO., Ltd.
2-208	DOTECH, INC.
2-302	DURKEE (WUHAN) INSULATION MATERIAL CO., LTD.
2-301	DurkeeSox (Shanghai) Air Dispersion System Co., Ltd.
2-205h	ESSEN TECH CO., LTD.
2-105	GEA Ecoflex (Asia) 社
2-202	GREENAIRTECH. CO., LTD.
2-304	Hangzhou Shenshi Heat Exchanger Co., Ltd.
2-205j	Hephzibah Co., Ltd.
2-104	Hydro Aluminium Japan KK, Precision Tubing
2-205e	JOONGWON Refrigeration & Heating Co., Ltd.
2-205b	KOREA REFRIGERATION AND AIR-CONDITIONING INDUSTRY ASSOCIATION
2-209	KOU SHENG FENG Co., Ltd.
2-205g	NSV Co., Ltd.
2-313	Rizk Brothers co for Refrigeration gas & equipment egypt
2-205a	YOUNG JIN INDUSTRIAL CO., LTD.
2-207	Zhejiang Zhuji DunAn Heat Exchanger Co.,Ltd.

## 情報発信コーナー

HVAC&R JAPAN 2010の開催テーマ  
 「温度先進国・日本の技術力」をキーワードに、  
 「出展者」「来場者」1人1人の環境への意識向上を目指して  
 パネル展示やステージ展開を行いました。



## (社)日本冷凍空調工業会

### CO<sub>2</sub>ディスプレイ

冷媒の温暖化係数をパネルオブジェで冷媒の「見える化」し、  
 温暖化への影響を強く訴求しました。



### プレゼンテーションステージ

情報パネルをわかりやすく解説する他、  
 最新技術紹介ボードの上映や出展者プレゼンテーションを行い、  
 業界動向を幅広く映像化してお届けしました。



### くらしの中の冷凍空調技術（大型パネル展示）

「冷凍空調は、私たちのくらしの中のあらゆる所で活躍しています。」  
 をイラストで、より身近に感じていただける大きなパネルをご用意しました。



## 冷媒回収推進・技術センター（RRC）

### RRC展示（パネル・破裂ボンベなど）

過充てんの恐ろしさを伝える破裂ボンベの展示や破裂ボンベ実験  
 VTRの上映、変形・劣化した付属機器展示の他、触って学べる  
 「冷媒回収シミュレーション」コーナーや関係機関のINFREP  
 (フロン回収推進産業協議会)による展示コーナーを設けました。



### フロン回収のことがよく分かる！「カイ&シュウ」

フロン回収の重要性を漫才風に仕立てた可笑しくて楽しいステージ  
 には、今回多くの聴講者が集まりました。



## 最新技術紹介ボード

例年好評をいただいている当企画には、今回多くの出展者が参加しました。  
 すべての来場者が通過する入場口に設置することで、最新技術を存分にアピールしました。



## 商談コーナー

今回より初の試みとして、出展者と来場者が落ち着いたスペースでじっくり商談できる  
 専用の商談コーナーを設置し、より重要なお客様との特別な空間としてご利用いただきました。



## 抽選コーナー

ご来場いただいたすべての皆様へ感謝の気持ちを込めて、素敵な景品をご用意しました。  
 また、同時に来場者アンケート調査を実施し、貴重なご意見を多数お寄せいただきました。



## 施設見学会

毎回熱心な参加者が集う見学ツアーでは、ロッテ浦和工場を訪問し、お菓子の生産・製造ラインに加えて  
 熱源設備であるCO<sub>2</sub>/アンモニア冷凍機を見学しました。



## 基調講演：会議棟 6F

## RRC セミナー：会議棟 6F

2月16日(火)

基調講演 I 13:30~14:20  
代替フロン(HFC)対策の現状と課題  
経済産業省 製造産業局 化学物質管理課 オゾン層保護等推進室 室長 山田 輝希

基調講演 II 14:40~15:30  
残された時間「できる! CO<sub>2</sub>、25%削減」  
東京大学 生産技術研究所 教授 山本 良一

2月17日(水)

基調講演 III 11:00~11:50  
地球温暖化への対応と  
電力負荷平準化対策について  
経済産業省 資源エネルギー庁 電力・ガス事業部 電力基盤整備課 課長 佐藤 悅経

基調講演 IV 13:00~13:50  
低炭素社会は電力シフトを進める!  
筑波大学大学院 システム情報工学研究科 教授 内山 洋司

## 一般講演：会議棟 6F

講演 1 14:00~14:45  
低炭素社会実現に向けた  
ガス空調・給湯システムの今後について  
東京ガス㈱ エネルギーソリューション本部 ソリューション技術部 空調技術グループマネージャー 横山 武

講演 2 15:00~15:45  
ヒートポンプの国際動向  
財ヒートポンプ・蓄熱センター 国際部 部長 都倉 尚吾

2月18日(木)

講演 3 10:30~11:15  
国際標準化  
BACS(ビル自動管理制御システム)の最新動向  
名古屋大学 名誉教授 中原 信生

講演 4 11:30~12:15  
改正省エネ法の概要と企業の対応について  
財省エネルギーセンター 国民活動支援本部 国民活動総括部 部長 原 正幸

講演 5 13:00~13:45  
エコキュートの普及促進  
～200万台までの軌跡と今後の展望～  
(財)ヒートポンプ・蓄熱センター 蓄熱普及分科会 委員 酒井 淳子

講演 6 14:00~14:45  
コミッショニングの意義、  
省エネ・低CO<sub>2</sub>社会への貢献の在り方  
NPO法人 建築設備コミッショニング協会 理事長 中原 信生

講演 7 16:00~16:45  
欧州の環境規制(省エネ、冷媒)の動向  
(社)日本冷凍空調工業会 国際・環境担当部長 片岡 修身

講演 8 13:00~16:00  
(社)日本冷凍空調学会技術賞セミナー  
(社)日本冷凍空調学会  
(社)日本冷凍空調工業会

2月16日(火)

2月16日(火)

RRCセミナー 13:30~17:00  
逃がさない・漏らさない・高効率回収セミナー  
[主催]冷媒回収推進・技術センター(RRC)  
[共催]社団法人東京都冷凍空調設備協会

- 「最新のフロン動向」(旭硝子㈱) 福島正人
- 「効率的なフロン回収」(アサダ㈱) 鶴見昌栄
- 「フロン大気排出削減と回収不具合事例と処理」(タスコジャパン㈱) 孟山英起
- 「再生・再利用の普及に向けて」(阿部化学㈱) 阿部裕之/矢後元伸/ベレーラ・チャリット



## 出展者プレゼンテーション

## 会議棟101会議室

2月17日(水)

2月17日(水)

14:00~14:45  
CO<sub>2</sub>ヒートポンプ式熱風発生装置  
「MAYEKAWA エコシロッコ」  
株前川製作所 環境プロック 産業エネルギー担当課長 米田 弘和

15:00~15:45  
国立大学における省エネルギー・省CO<sub>2</sub>化プロジェクト  
～東大サステナブルキャンパスプロジェクト(TSCP)～  
東京電力㈱ 東京大学 東大サステナブルキャンパスプロジェクト室(TSCP室) 河野 匡志

## 展示ホール内プレゼンテーション会場

2月18日(木)

2月16日(火)

14:30~15:00  
空調機用 UVGI システム(空調機内に紫外線ランプを設置することによる、  
空気殺菌、コイル・ドレンパンの殺菌)  
谷澤商事㈱ 営業部 豊田 啓

13:00~13:30  
三洋電機がお勧めする  
ビルエネルギーマネジメントシステムのご提案  
三洋電機㈱ コマーシャルカンパニー 冷熱技術開発センター ITシステム開発部 部長 中曾根 純也

2月17日(水)

11:15~11:45  
ストリーマ技術について  
ダイキン工業㈱ 環境技術研究所 主任研究員 香川 謙吉

13:45~14:15  
排熱回収ヒートポンプ「Mr. エコヒート」の紹介  
株東洋製作所 研究開発部 研究開発課・関西支社エンジニアリング部技術課 外村 琢

13:45~14:15  
排熱回収ヒートポンプ「Mr. エコヒート」の応用(事例)  
株東洋製作所 研究開発部 研究開発課・関西支社エンジニアリング部技術課 濑戸山 謙治

14:30~15:00、15:15~15:45  
CAREL 電子膨張弁の性能と特徴  
(有)柴田熔接工作所 CAREL INDUSTRIES S.r.l. Systems & Products Unit Marketing Dept, Unit Manager LUCIANO MARZARO CAREL ELECTRONIC Co., Ltd. General Manager GARY ECONOMIDES

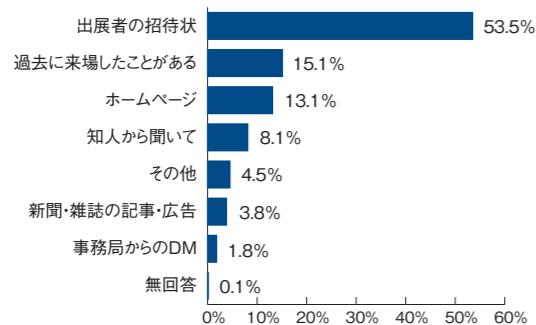
## アンケート結果

2012年の次回開催に向けて、様々なお声をお聞かせいただきました。  
ご協力ありがとうございました。

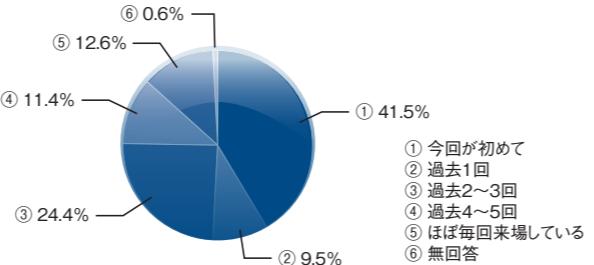


### 来場者アンケート (有効回答者数: 800)

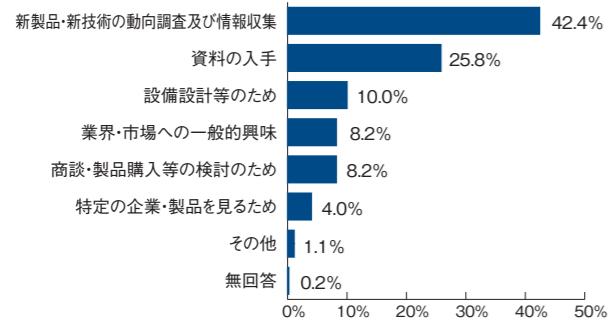
#### Q1 HVAC&R JAPAN 2010 を何でお知りになりましたか。(複数回答)



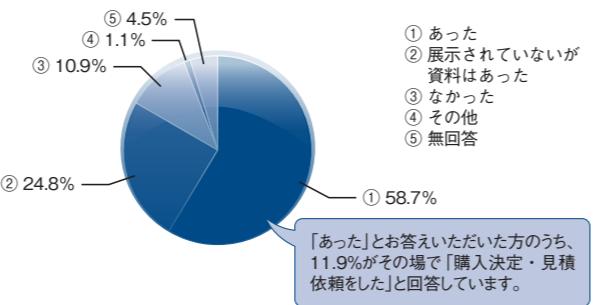
#### Q2 本展へのご来場は何回目ですか。



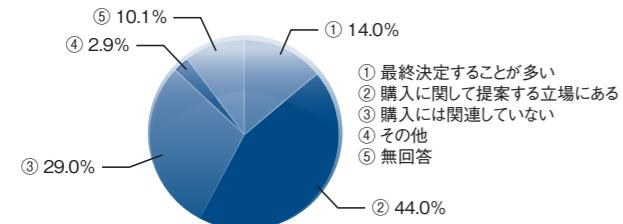
#### Q3 ご来場の目的は何ですか。(複数回答)



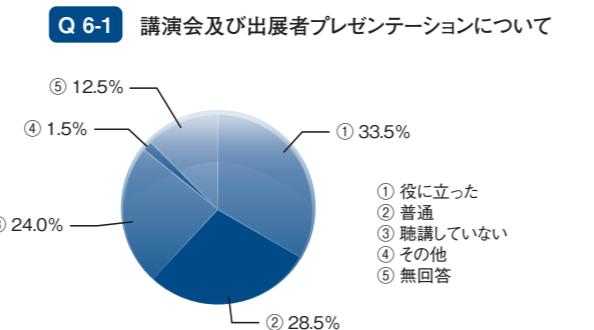
#### Q4 お目当ての出展物・情報はございましたか。



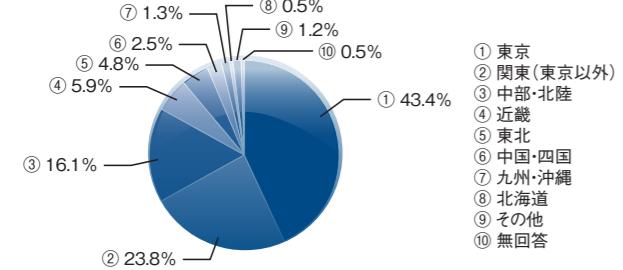
#### Q5 冷凍空調機器 / 製品の購入について



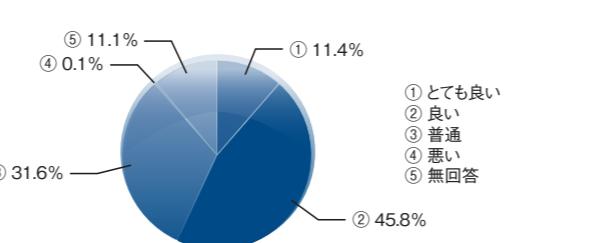
#### Q6 併催行事について



#### Q7 本日はどちらからいらっしゃいましたか。(現在の勤務先所在地)



#### Q6-2 情報発信コーナー等の主催者企画について



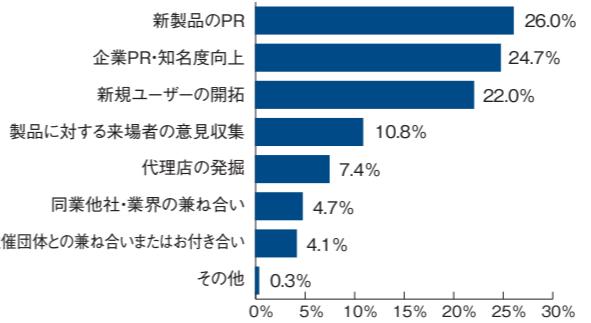
## 来場者の声

- 新製品が多数出展されており、大変参考になった。次回はもっと来場時間をたっぷりと取って来場したい。隔年ではなく毎年、関東以外での開催も是非検討してほしい。
- 今後の環境ビジネスに大いに興味があり、十分な情報収集ができた。海外も含めて、HVAC&R 業界動向の発信基地として、益々の活躍を期待する。
- 実機の試運転等が体感できると大変勉強になる。今後、大型設備から家庭用まで、各種の製品展示が充実すれば尚一層良い。

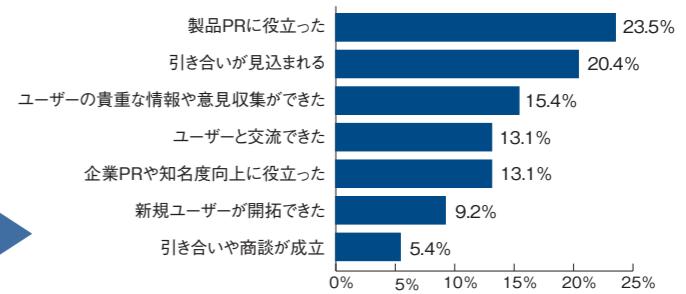
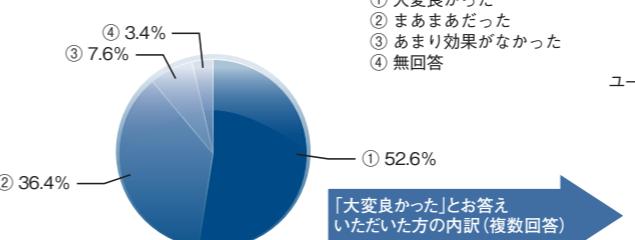
- 初出展ながら十分なPRの手応えがあった。小間数拡大を視野に、次回も前向きに検討していきたい。
- 普段は交流のない分野のお客様にも自社製品を知っていただくことができた。この機会を次のビジネスに繋げられる様に大切にフォローアップしていきたい。
- 前回と同等の成果を得ることができた。安定した商談機会の場として、今後も継続して活用していきたい。

## 出展者の声

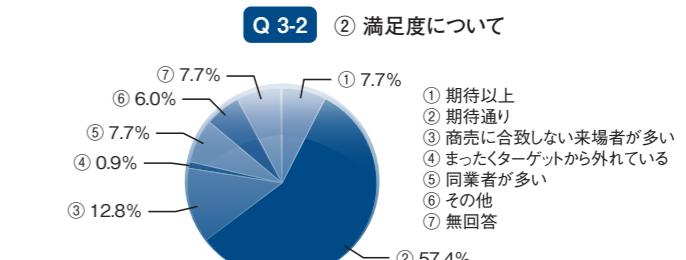
#### Q1 今回出展された目的について (複数回答)



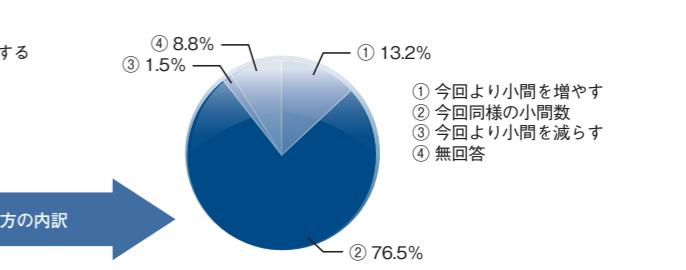
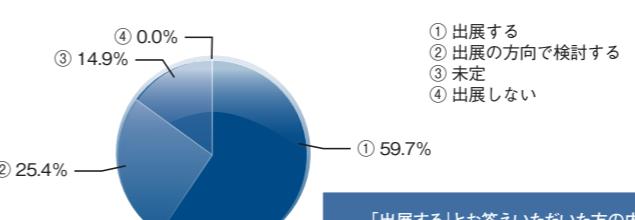
#### Q2 今回出展された感想について



#### Q3 小間を訪れた来場者について



#### Q4 次回「HVAC&R JAPAN」への出展について



## 広報・宣伝活動

当工業会によるプロモーション活動の他、各メディアをはじめ、関係各社・団体のご協力を得て、多面的な広報展開を実施しました。

### 各種広報ツール

#### 来場案内



●和文来場案内



●英文来場案内

#### 告知ポスター



### 海外プロモーション

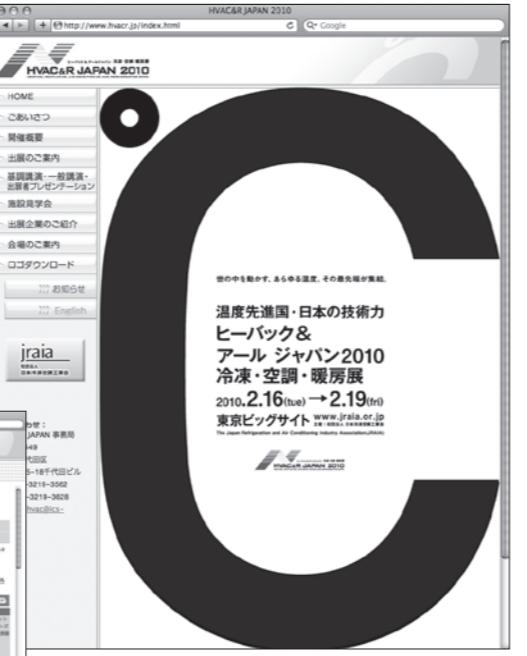
中国主催者との提携で「中国制冷展2009」に出展。

グローバルな出展・来場プロモーションにより、アジアをはじめ、欧州からも出展者が集いました。



#### ホームページ <http://www.jraia.or.jp>

出展者による入稿システム「出展者専用 WEB」を活用し、企業情報だけでなく、展示予定製品やその見どころをウェブ掲載しました。これにより来場者は、開催前から「社名や関連キーワード」による検索の他、「出品製品カテゴリー」による絞り込みで、お探しの製品・技術を見つけやすくなりました。



●ホームページ TOP

●出展者検索ページ

### 新聞・雑誌への広告・特集記事掲載

#### 媒体名一覧

- 週刊エアコン流通人
- 日本冷凍空調学会誌「冷凍」
- 日本冷凍食品協会誌「冷凍食品情報」
- 日本冷凍空調設備工業連合会会誌「冷凍空調設備」
- 熱産業経済新聞
- 空調タイムス
- 建設通信新聞
- 日経産業新聞
- その他多数媒体

●日本冷凍食品協会誌  
「冷凍食品情報」



●

●週刊エアコン流通人



●日本冷凍空調学会誌「冷凍」



●熱産業経済新聞



●空調タイムス



●日経産業新聞

経済産業新報

JARN



**HVAC&R  
JAPAN 2010**  
HVAC&R JAPAN 2010

Reserve Your  
Booth Now!!

Feb.16(fri.) → Feb.19(fri.)  
Tokyo Big Sight  
East Exhibition Hall 1,2  
[www.jraia.or.jp](http://www.jraia.or.jp)

For more information, visit [www.jraia.or.jp](http://www.jraia.or.jp)  
or [www.hvacrjapan.com](http://www.hvacrjapan.com)  
E-mail: [hvacr@jrc-inc.co.jp](mailto:hvacr@jrc-inc.co.jp)



**HVAC&R  
JAPAN 2010**  
HVAC&R JAPAN 2010

Reserve Your  
Booth Now!!

Feb.16(fri.) → Feb.19(fri.)  
Tokyo Big Sight  
East Exhibition Hall 1,2  
[www.jraia.or.jp](http://www.jraia.or.jp)

For more information, visit [www.jraia.or.jp](http://www.jraia.or.jp)  
or [www.hvacrjapan.com](http://www.hvacrjapan.com)  
E-mail: [hvacr@jrc-inc.co.jp](mailto:hvacr@jrc-inc.co.jp)

**Reserve Your  
Booth Now!!**

2010.Feb.16(tue.) → Feb.19(fri.)  
**Tokyo Big Sight**  
East Exhibition Hall 1,2  
[www.jraia.or.jp](http://www.jraia.or.jp) Organized The Japan Refrigeration and Air Conditioning  
Industry Association

Your company's technology field is essential. Help us provide a truly  
comprehensive exhibition, showcasing Japan under the theme of  
"Powerhouse in temperature control –  
Technical innovation in Japan"

**Applications and Inquiries** Secretariat of HVAC&R JAPAN

8th Fl., Sumitomo Corp. Jitensha Bldg. 3-24, Kanda-Nishicho,  
Chiyoda-ku, Tokyo 101-8449, Japan  
TEL: +81-3-3219-3562 FAX: +81-3-3292-1813  
E-mail: [hvacr@jrc-inc.co.jp](mailto:hvacr@jrc-inc.co.jp)

## ●フジサンケイビジネスアイ

The image is a composite of two pages from the HVAC&R JAPAN 2010 catalog. The left page (page 111) features a large 'Seminar' logo at the top, followed by a schedule for '2010.2.16(火)~2.19(金)'. It lists four sessions for '会場ピックサイト' (Hall Pick Site) and four sessions for '会場技術講習会' (Technical Seminar). The right page (page 112) features a large 'HVAC&R JAPAN 2010' logo at the top, followed by the text '2010年2月16日~19日 東京ビッグサイト' (February 16-19, 2010, Tokyo Big Sight). It also lists four sessions for '会場ピックサイト' and four sessions for '会場技術講習会'. Both pages include a '会場マップ' (Exhibition Hall Map) and a '会場マップ' (Exhibition Hall Map) at the bottom.

●熱產業經濟新聞

●建設通信新聞

●日刊工業新聞

●五口古新聞

管材新聞

次回HVAC&R JAPANのご案内



2012年2月開催予定  
東京ビッグサイト



[www.jraia.or.jp](http://www.jraia.or.jp)

展示会についてのお問い合わせ

HVAC&R JAPAN 事務局  
〒101-8449 東京都千代田区猿楽町1-5-18 千代田ビル  
TEL(03)3219-3562 FAX(03)3219-3628  
E-mail:hvac@ics-inc.co.jp